

---

# 飛ぶ

十五しいか

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

飛ぶ

### 【著者名】

N1-8550

### 【作者名】 十五しいか

### 【あらすじ】

私は今日、学校の屋上から

私は何故生まれてきたんだろう。

私は学校の屋上に居る。

もうこんな事考えなくても良いのに。

今日で終わるから。

誰かに悲しんでほしいとは思わない。

誰かに理解して欲しかったなんて思わない。

だから、遺書は書かない。

親に生んでくれてありがとうなんて言わない。

親不孝でも構わない。

だって、私は一人だから。

昨日、親に

「馬鹿」

と言われた。

他の子だったら何も気にしないかも知れないけど、私にとっては堪えられない言葉だった。

虐待を受けてた訳じゃないし、贅沢もしてた。生活に不満は無かった。

自分でも不思議に思う。

友達に言われても何とも思わないのに。

でも、その一言が私の未来を真っ黒に塗り潰す。

学校生活も充実してた。

相談出来る友達はいたし、クラスでも人気がある方だったと思つ。

今はその友達も私には必要ない。

私でさえ自分の事は解らないけど、多分一人になりたいんだと思う。

親に言われた言葉は、自分自身を納得させる道具。

直接の理由では無い。

もうこんな事はどうでもいいか。

生まれて良かつたなんて誰にも分からぬ。

だから私は、

飛ぶ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1855o/>

---

飛ぶ

2010年10月10日13時57分発行